

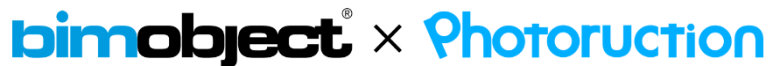
報道関係者 各位

2020年9月3日

BIMobject Japan 株式会社

**BIMobject Japan と フォトラクション****建物の価値を高めるファシリティマネジメントにおける BIM 活用に関する共同研究を開始  
～建物ライフサイクルのデータベースを一元管理。BIM を気軽に扱える世界を実現～**

デジタルイゼーションをビジョンの一つに掲げる野原グループの BIMobject Japan 株式会社（所在地：東京都新宿区、代表取締役社長：東 政宏、以下 BIMobject Japan）と、建設・土木の生産支援クラウド「Photoruction（フォトラクション）」の開発および運営を行う株式会社フォトラクション（本社：東京都中央区、代表取締役 CEO：中島 貴春、以下フォトラクション）は、ファシリティマネジメントにおける BIM 活用に関する共同研究を開始しました。

**■背景**

新型コロナウイルス感染症を契機に、建設業界においてもデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進する機運がより一層強まっています。

国土交通省は昨年6月、官民一体となって BIM（※）の推進を図るため建築 BIM 推進会議を省内に設けました。また、今年7月に、データやデジタル技術を活用して社会資本の変革を目指す「インフラ分野の DX 推進本部」を立ち上げ、小規模を除くすべての公共工事で、2023 年度までに BIM/CIM を原則適用する目標を掲げています。今後、DX 推進を図り、BIM の導入が急速に進んでいくものとみられています。

※BIMとは、Building Information Modeling（ビルディング インフォメーション モデリング）の略称で、建築物のデジタルモデルに、部材やコストなど多様な属性データを追加した建築物のデータベースを持たせ、設計・施工・維持管理までプロセスを横断して活用するための新しいソリューション。

現状としては、BIM は既に設計や施工での利用導入が進みつつあるものの、維持管理フェーズにおける導入成功事例は限られています。例えば、本来、竣工時点での詳細な使用部材や設備が把握できていればメンテナンスや修繕計画にもスムーズに利用できるものの、実際にはデータが活用しきれておらず、再度現場に赴き現場調査し、計画を立てるようなケースが伺われます。既存の BIM ソフトウェアは3D モデルの利用を前提とし、導入・運用における投資コストが高いことも、維持管理における BIM 導入の遅れに起因していると考えられています。

**■研究共同の目的について**

BIMobject Japan が提供する BIM ユーザーと建材メーカーをつなぐプラットフォームサービス「BIMobject® Cloud」と、フォトラクションが提供する建築・土木の生産支援クラウド「Photoruction」を活用し、両社の知見と技術を生かして維持管理分野において BIM が浸透し、建物のデータベースがスマートに有効活用される世界を目指して協業し、今年9月より、共同研究を実施します。

**■共同研究の概要**

今回の共同研究では、設計・施工・維持管理まで建物ライフサイクルのデータベースとして直感的に操作でき、BIM ビューワーとしての機能も備えている「Photoruction」と、建設資材の情報及び世界最大の BIM コンテンツプラットフォーム「BIMobject® Cloud」という双方の強みを活かし、関係者皆がマニュアルや導入説明なく BIM を気軽に扱えるサービスの商用化を目指します。

多機能かつ3D で操作性が複雑になりがちな従来の BIM ソフトウェアと性格を異にし、2D 図面と BIM オブジェクトを連携させます。竣工時点において図面情報と部材・設備情報などをリンクさせ、設備点検や修繕工事の計画・実施に役立てます。

ファシリティマネジメント（※）実務にて求められる用途に絞ったサービスとするため、既存の BIM ソフトウェアに比して、より軽く・より安く、現場にとって必要なサービスのみを提供します。

※ファシリティマネジメント（FM）とは、「企業・団体等が組織活動のために、施設とその環境を総合的に企画、管理、活用する経営活動」のこと。（2018年（平成30年）1月発行『公式ガイド ファシリティマネジメント』による定義）

## Photoruction について

Photoruction は、生産性と品質向上を目的とした建設業向け生産支援クラウドサービスです。現在、ゼネコンの工事現場をはじめ、専門工事会社、設計事務所など、50,000 件以上の工事現場で利用されています。建設業界は、現場業務や報告書作成が未だに紙を中心に行われており、非効率な業務が多いという課題があります。Photoruction は、データ整理や資料作成などの煩雑になりがちな業務を効率化し、業務時間の削減や生産性の向上を実現いたします。また、既存事業の Photoruction に加えて、建設業特化 AI と建設技術者であるオペレーター（ヒト）を組み合わせた新しい「建設 BPO」サービスをリリースしました。当サービスで建設産業の労働力を最大化し人手不足の根本的な解決を目指します。

### 【株式会社フォトラクション 会社概要】

代表取締役：中島 貴春

設立：2016 年 3 月 14 日

所在地：〒104-0045 東京都中央区築地五丁目 4 番 18 号 汐留イーストサイドビル 6 階

資本金：775,024,500 円（※資本準備金含む）

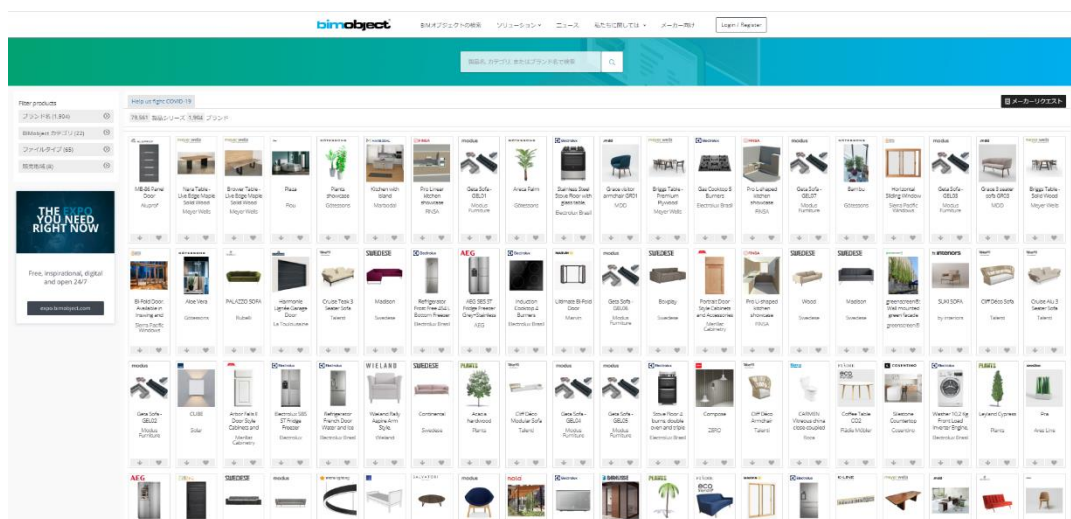
事業内容：インターネットサービスの企画・開発・運用

WEB：<https://www.photoruction.com/corp>

## BIMobject Japan 株式会社について

建材商社である野原ホールディングス（新宿区）と、BIM コンテンツプラットフォーム「BIMobject® Cloud」を世界的規模で展開する BIMobject AB (Malmo Sweden) が 2017 年 12 月 27 日付で設立し、国内向けサービスを開始しました。

BIMobject Japan が運営する「BIMobject® Cloud」は、世界の建設資材や設備等のメーカー製品の BIM コンテンツ（製品のデジタルデータ）を始めとするあらゆる情報/データを掲載する世界最大のプラットフォームです。BIM を使った 3D 設計など、三次元で建設プロジェクトのプロセス管理を効率的に行う手法の一つとして、建築家、エンジニア、設計者などの BIM ユーザー（利用者）に使用頻度の高いオブジェクトデータを無償提供しています。



※「BIMobject® Cloud」より。多数の BIM オブジェクトを掲載している

### 【BIMobject Japan 株式会社 会社概要】

代表取締役社長：東政宏

設立：2017 年 12 月 27 日

所在地：〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-1-11

資本金：274,214,025 円

事業内容：建設業界におけるデジタルプラットホーム事業

WEB：<https://info.BIMobject.com/ja/home-japanese>

**bimobject**<sup>®</sup>

## 野原ホールディングス株式会社について

---

野原ホールディングスを中心とする野原グループは、建設業界を中心に建材や鉄鋼関連、セメントなどの資材販売、道路交通標識などの販売・施工を通して事業を拡大してまいりました。

2015年からは多数の新規事業をスタート。新しい表現と自由な発想に寄り添う壁紙ブランド「Wh0」、プロ向け建材通販サイト「アウンワークス」、建設情報のデジタル化を目指す「BIMobject Japan」など、建設業界のプロセス変革と生産性向上に注力しています。

私たちは、2020年8月より掲げる新ミッション「CHANGE THE GAME. クリエイティブに、面白く、建設業界をアップデートしていこう」のもと、これまで培ってきた知見をさらに磨き、未来につなげていくことで、時代に最適化した仕組みやサービスをつくっていきます。

そして、社業を通じて、より一層社会に貢献して参ります。

【WEB】 <https://nohara-inc.co.jp>



---

### 【BIMobject® Cloud に関するお客さまからの問合せ先】

BIMobject Japan 株式会社

メール : [japan@bimobject.com](mailto:japan@bimobject.com)

### 【本リリースに関する報道関係者からの問合せ先】

野原ホールディングス株式会社

社長室(担当：齋藤、青木)

TEL : 03-6328-1576